

## パソコン授業サポート(ご報告)

下記日程にて、地域の方のご協力を得ながらパソコンサポートを行いましたので、ご報告いたします。

### 1. 日程・参加者

- a. 6/8(水) 4年生 9:30集合、9:40-12:20  
杉下さん 評議会委員  
岩田さん 評議会委員  
西永 評議会委員
- b. 6/21(火) 4年生 8:45集合、9:00-12:20  
松本さん 評議会委員  
稲富さん 片中カフェ  
渡邊さん 支援フォーラム  
西永 評議会委員
- c. 7/5(火) 1年生 8:30集合、8:50-12:20  
稲富さん 片中カフェ  
杉下さん 評議会委員  
西永 評議会委員

<以下は予定>

- d. 7/8(金) 1年生 8:30集合、8:50-12:20  
松本さん 評議会委員  
稲富さん 片中カフェ  
石原さん 片中カフェ  
加藤さん 片中カフェ
- e. 7/11(月) 1年生 8:30集合、8:50-12:20  
西野さん 片中カフェ

### 2. 対応状況

- a. 四年生
- i. 翌日が横浜遠足だったこともあり、横浜に関わることをインターネットで検索し(港、地形、駅、食文化など)、内容をまとめ、写真を添付して、先生にパソコンで提出する(提出ボックスに登録する)授業。
  - ii. パソコンへ慣れている生徒が多く、パソコン操作に対するサポートは、それほど多くなかった。分からないことがあっても、近くの生徒が教えてくれる状況。
  - iii. 一台、日本語入力できないパソコンがあり(恐らく、何かの操作を行なっている中で、誤って削除されたか)、設定追加作業を行なった。パソコンに慣れたスキル者の対応が必要な作業であるが、頻繁には発生しないと思われる。
  - iv. インターネットで表示される難しい漢字が読めずに(港湾、竣工、帆船など)読み方を訪ねてくる生徒が多かった。(この後、パソコンのメモ帳に文字を入力するが、読み方が分からないとキーボード入力できないため)
  - v. キーボード入力にあたり、日本語をローマ字入力する必要があるが、スムーズにローマ字入力できる生徒と、日本語=ローマ字変換表を見ながら対応する生徒で、入力時間に差があった。
  - vi. 写真をコピーして貼り付けする方法や、「ジュ」「ッ」などのローマ字入力に関してサポーターへ質問があった
  - vii. 総評として、四年生に関しては、生徒同士のサポートで授業が回る印象あり。

b. 一年生

- i. 一年生にとってパソコンの授業は今回で2、3回目であったようであるが、昨年度の二年生時の授業に比べると、格段に理解が進んでいてスムーズに授業が進行している印象あり。先生方のパソコンへの慣れやスキルが高まり、教え方がスムーズになってきたり、児童たちのパソコンやスマホなどへの慣れも影響しているのかもしれない。  
(昨年度の二年生授業では、全員がパソコンログインするのに40分程度要し、1時限を使い切った感じ)
- ii. クラスに数台、パスワードが変わっている(前回設定時に誤った文字を入力して設定された?)パソコンあり、パソコンサポーターでも対応できず、専門技術員の対応が必要であった。
- iii. 技術的なサポート内容として、パスワード入力時にキーボードが反応しなくなり、そのため、一度パソコンを閉じて・開けることで回復する対応を行った。
- iv. 40名程度の児童がいる中で授業を進めるため、次に何の操作を行うのかスムーズに進める生徒と迷う生徒がいて、次にどのボタンを押すのか、どのメニューをクリックするのかわ、先生とサポーターが手分けして支援する対応を行なった。
- v. 総評として、パソコンの技術的なサポートはあまりなく、授業支援の位置付け(スキルセット)に近いと感じた。

3. 今後の課題

- a. パソコン不良、電源充電不良／充電し忘れ、キーボード不調などに備え、予備のパソコンを学年単位で(同じ機種で)用意し、不測の事態には交換するなどの対応を行うことで、パソコン高スキル者のサポートなく、授業の進行がよりスムーズになると思われる。
- b. ローマ字入力が不慣れな生徒向けに(ローマ字入力を習いたい生徒向けに)、放課後学習を行なうのも一つの案と思った(先生もしくは地域サポーターによる放課後授業)
- c. 例えば、どういうキーワードで検索するのが良いのか、何を検索したら良いのかなど、パソコン操作の範囲を越えて、少し授業に踏み込む質問もあり、どの程度までサポーターがサポート(介入)して良いのか、先生に質問するように促すのか、サポーターの立ち振る舞いに関して、簡単なガイドライン的なものが必要になりそうかなと感じるケースもあった。
- d. 今後の継続も含めて、パソコンサポーターの募集方法は引き続き課題。ただし、個人的には、あくまでもサポーターとして(黒子として)楽しみながら取り組める人材を集めるのが望ましいと考え、引き続き検討していく。

4. その他

- a. クラスごとの雰囲気